

木馬会会報 (第60号)

菊花賞特集



96/10/31

～木馬達の予想～

本誌 こだわりの“へな”

菊花賞

◎…サクラケイザンオー ○…カシマドリーム

△…ダンスインザダーク フサイチコンコルド ミナモトマリノス

メイショウジェニエ ロイヤルタッチ ローゼンカバリー

…“へな”の理屈…

今週は久々に“こだわり”をもって、思い入れの深い馬サクラケイザンオーに◎を打ちたい。デビュー前から惚れ込み、今年のクラシックはスピードオーとケイザンオーで勝負しようと心に決めていた。本来なら3歳秋には無事にデビューし、スピードオーとともにクラシックの中心になっていたはずだったが、牧場にいた頃に痛めた脚の影響でデビューが遅れ、しかも除外また除外の連続で、春は為す術のない状態だった。夏になってから力通り勝ち進み（とりこぼしもあったが…）セントライト2着を経ての待望のG Iである。

順調なら早月か優駿のどちらかは絶対に取っていたほどの実力馬と自分勝手に思っているの、やっと訪れた最後のチャンス、菊花賞こそは何がなんでもこの馬と心中する。（今回狙わないと次走以降は人気になってしまうから…）鞍上の横典が天皇賞で取りこぼしたのを見て、菊は横典（＝サクラ）で間違いないと更に自信を深めた。ジョッキーはミスをしたら必ず次に名誉挽回しようと必至で頑張るはず。それが勝負の世界というものだろう。しかも同じ厩舎が絡んでいるなら尚更だ。そんなことがなくても勝つだろうが…。という訳で皆さん信用して下さい。ごきげんよう。

最後に一言…メイショウジェニエが面白そうです。なんとなくですが。

トウインクルダンディの予想

菊花賞

◎ダンスインザダーク ○メイショウジェニエ

△ロイヤルタッチ、フサイチコンコルド、ミナモトマリノス、

ローゼンカバリー、マウンテンストーン、カシマドリーム

G I 3戦め、3度目の正直もあり武&ダンスを信頼する。距離の不安がない訳ではないが、今の超高速京都馬場なら、東京2,400mで好走した馬たちにとってさほど問題になるとは思えない。同様の理由から優駿で好走した馬たちを相手と考えるが、その中で1番手はメイショウジェニエ。今回はそれほどの人気にならないと思うが、仮にも優駿3着、父アンバーシャダイを考えれば距離的にも最も面白い。

栄蔵の1番弟子 TP

菊花賞

◎…ダンスインザダーク ○…フサイチコンコルド

△…カシマドリーム、フサイチシンイチ、ロイヤルタッチ、マウンテンストーン、
ロングカイウン、メイショウジェニエ

～たかPの屁理屈～

ダンスは首がいやにひよる長く、とても個性的な体型をしている。なんとなくライスシャワーを彷彿とさせる体型で、これはステイヤーの証とも思われる。前走、調教もパドックも良く見せずにあれだけ楽に勝たれてしまっただけは、軸は固い。

相手筆頭はやはり、奇跡のダービー馬、コンコルド。前走は、勝ち馬にあまりにうまく乗られてしまった分の5馬身差であり、自身34秒台の脚を使っていることから、悲観する内容ではない。たとえダンスが出てても前を捕まえられなかっただろう。問題になるのは中1週であるが、タンホイザの例も有り余り不利な条件とは思えない。それに慎重を期す小林掬厩舎であり、出走させるからにはそれなりの出来であると考ええる。

さて、ここで天皇賞での教訓をのたまわせていただく。サンデーサイレンス産駒について。やはり成長するのは4歳一杯までで、短期間で最大能力を発揮するまでに成長する。その後は律義に自分の力を出すのみである。かなり前にもそういう事を書いたが、更に最近確実性を増した。秋華賞でも某サンデーサイレンス産駒達が穴人気になったが、結局春の実績を超えられなかった。また、4歳であれだけ猛威を振るいながら、5歳でのG I制覇がない。悲しいかな、マーベラスサンデーはG I制覇することは出来ないだろうと思う。そこでサンデー産駒3頭を見ると、ロイヤルはまさに去年のプライムステージ状態。馬がパニック状態になっていて、善戦がやっとではないか。岡部の手綱に一縷の望みを託す。ローゼンはその血統から騒がれていたが、春には底を見せた馬。それがプリンカー効果とやらで2連勝したが、前走は道悪であり、あの着差を額面通りは受け取れない。レコード決着続出の京都コースで持ち時計不足は心配。ケイザンオーは唯一の夏の上がり馬といえるが、ながつき賞を勝てなかったあたりに底力がどれほどか見える気がする。負けたため急遽手薄なセントライトに使わせるをえなかったのだ。天皇賞でこけた横山騎乗で、穴人気になるだろうが、底力不足と見る。

その他の馬たちも不安がいっぱい。ミナモトはいつかのウイニングチケットのように一世一代の鬼脚を前走で使ってしまったようだし、血統的にも2流で、せいぜいホッカイルソーレベル。善戦がいっぱいではないか。シロキタクロスは前走、相手の骨折、凡走に助けられた感大だし、カシマドリームはジェイドロバリー産駒で、G Iでは足りないんじゃないか。ジェニエも3着がいっぱいだろう。

はっきりいって、このメンツならダンスーコンコルドで決まる確率は50%あると思う。ただ、コンコルドはこける可能性も孕んでいる。だが、コンコルドが来ないと仮定した場合、じゃあどの馬とって絞れるメンツではない。ダンスから7点あげてほぼあたると言えないのなら、穴に流してみたい。ダービーでそこそこのレースをし、重めの前走を叩き、渋太いノーザンテースト産駒であるフサイチシンイチ。鞍上も田原。このレースも逃げ馬がいないので、前々に行ってくると非常にワクワクドキドキだと思うのだが。前走この馬からいかせてもらったロングカイウン。手応え十分で4角を回り、直線も追い上げてきて、「いけるかっ」と思った瞬間、まさかの尻っぱね。なにやっとなじゃ～。でも、トニービン産駒で、長距離は合うだろう。マウンテンは前走ケイザンオーとハナ差の2着なら、休み明けだったこっちの方が面白い。一応ジェニエも加えとくかな。

実際には本命で固いと思うが、穴に数点買うぐらいの小賭け勝負しかできないだろう。これなら土曜の根岸Sストーンステッパーとトキオクラフティの1点勝負の方が面白い。

パドックで非常に良く見えたバブルガム。やはり私の目に狂いはなかった。バブルガムは強かった。馬券の方も当日になって、会報で挙げた5頭で堅いと思い、トップガンーバブルの馬券も押さえたので的中。金曜日発行の予想が外れてようが、要は馬券が当たりやあいいのよ、わっはっはっは。現在の回収率88.8%。

ヤッタネ！フェロー君 しかし、

メニィフrend

ついに恐れていたことが起きてしまいました。あのバブルガムフェローがついにG1をとってしまったのです。僕と彼との因縁は、木馬会の皆さんがよくご存知だと思いますが（新入会員の方は、会報バックナンバー参照のこと）、切っても切れない関係にあるのです。嗚呼、あの時ケチをしないで財形貯蓄を解約し、1口フェローを買っていれば、既に1000万円が手に入り、フェローが10億円馬となり、更に10億円のシンジケートが組まれれば、なんと1億円が楽に手に入ったのに。まあ、悔やんでも仕方がないので、気を取り直すことにして、奥さんに1億円の保険料でも掛けます。

ということで、秋華賞に続き、また社台の馬がG1を制覇してしまいました。さぞかし、社台嫌いのT氏も悔しい思いをしていることせう。この勢いだ、秋のG1はすべて社台が勝ってしまいそうです。

ところで、よく日本という「国」は、「熱しやすく醒めやすい」国民が支配しているせいか、物事の変化が著しい所で、それが産業廃棄物の増加につながり、環境が汚染されていく、という理屈をよく伺います。その反面、ついこないだ「55年体制」が崩壊したばかりなのに、また自民党が復活し、「古きを愛する」という国民性をもった、ほんとに変な国（民）です。「菊花賞」というレースも、マイラーやミドルディスタンスホース全盛の現代競馬においては、すでに時代遅れの感があり、JRAがいつ、大井の某レースみたいに、2600mくらいに距離変更をしてもおかしくはありません。その証拠に、菊花賞しかとれなかった種馬がいかに冷遇されていることか、最近では、春の天皇賞のステップレースみたいで。そこで、私の狙い目は、本来なら我が社台のローゼンガバリー及びダンスインザダークというところですが、上記の国粹的な理由及び従来の原稿作成方針から等から、以下の予想とさせていただきます。

- ◎ ミナモトマリノス
- ダンスインザダーク
- ▲ ローゼンガバリー
- △ カシマドリーム、フサイチコンコルド、シロキタクロス

新人 ライスシャワシャワ

ライスシャワの予想はよそう!?

2週続けて、断然の1番人気はコケてしまいましたが、2度あることは3度ある...

どの馬にしてみても、3,000mというのは未知の距離であり、最後は底力と根性の勝負になることでしょう。

底力と根性ということではダービー馬コンコルドでしょうが、この馬は確かに常識では判断できない部分があるのだろうが、中1週での3,000mというのにはやはり不安が残る。もともと虚弱体質であったこの馬にしてみれば、マイナス材料となるはず。一夏越して、成長しているだろうが、ガラリ一変とは考えにくい。ここは無印。「ダービー馬」に傷がつかないうちにラムタラのように、種牡馬になっていただきたい。

本命は◎カシマドリーム。青葉賞を見て、ダービーはこの馬と思ったが、疝痛のため取り消し。その後は勝ちきれないでいるが、前走、京都新聞杯ではダンスを3/4馬身まで追い詰めた。たんぱ賞のあと（秋2戦したにもかかわらず）、体重は28キロ増えており、成績も上がっている。まさに今が充実一途である。また、飯塚厩舎一的場と言え、ライスシャワーを手がけたコンビであり、一発やってくれと期待する。

相手も○ダンスインザダークで決まり。血統、体形をみても3,000mはこなしてくれるはず。その他の人気になりそうな馬に関しては、

- ミナモトマリノス：展開次第
 - ロイヤルタッチ：春からの成長がない
 - ローゼンガバリー：（強いのは認めても）菊花賞馬にプリンカーは似合わないという理由で消し。
- しかし、この秋のG1で、武には運がないような気がして、心配ですが...

予想はウソよ 四国の井崎

中山競馬場場で天皇賞を応援しました。直線の追い比べは非常に見応えがありました。結果は春の本命馬マヤノが連対して予告通り涙、涙の物語になってしまいました。マーベラスの他、先週は福沢さんの単勝のフィールドウェイ、サイキョウシュートがあっさり大惨敗。このため、ボーナスまでは超緊縮財政で臨まなければならなくなりました。まあ、肩の力が抜けました。気楽な予想でいきます。

それにしても、JRAの天皇賞CMで焼肉屋だからオーナーが焼肉屋のサクラが鉄板（MVPのニールの背番号も16だったし）！と思った人も多かったでしょうが、焼肉屋で最後に出るのはガムだった。後で気づいた人から聞いた話です。

へなさんはしっかり的中して本誌を守りましたね。たいしたものです。

菊花賞

- ◎ ロイヤルタッチ ○ ダンスインザダーク
- ▲ フサイチコンコルド ▲ メイショウジュニエ

気楽にいきます。何のことはないダービー1着から4着馬のBOXです。

期待していた秋の上がり馬というのはいないと見ました。

私の春の本命馬が連対しているので、もうやけくそでロイヤルタッチを本命にしました。まあ、今週は骨折直後なので軽くやります。来週のエ女王杯が楽しみです。

第57回 菊花賞

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			ローゼンガバリー	ロングカイウン	ロイヤルタッチ	メイショウジュニエ	ミナモトマリノス	マルカシーズ	マウンテンストーン	マイネルスピリット	フサイチシンイチ	フサイチコンコルド	ナムライナズマ	ダンスインザダーク	ダイワセキト	シロキタクロス	サクラケイザンオー	カシマドリーム	オンワードアトゥ	インターフラッグ	馬名
			△		△	△	△					△		△			◎	○			へなりん
			△		△	○	△		△			△		◎				△			トウインクルスター
				△	△	△			△		△	○		◎				△			TP
			▲				◎					△		○		△		△			メニーフレンズ
			△		△		◎					△		○			▲	△			おけらくん
					▲	△	△					◎		○				△		△	ジュライヨクチュール
			◎		△		▲							○		△		△			心配御無用!
			△		△		△				△			◎			○	▲			Y O
					○	▲						◎						△			ナリヲラッキー
			○			△	△		△			◎		△				▲			ミスターX
			▲				x				x	◎		○			x				ラッキー
														○				◎			ライスシャワ

次号はエリザベス女王杯特集。式直前の私ですが、鞭打って頑張りました。